

資生堂、バーバリー社とのディストリビューション契約を終了 —更なる選択と集中へ向けて—

株式会社資生堂は、子会社である EMEA 地域本社(所在地 フランス、パリ)を通じて、バーバリー社(Burberry、本社 英国、ロンドン)と締結していた同社のフレグランスを含むビューティー製品のディストリビューション契約(日本を含む)を終了することを決定しました。

資生堂は中長期戦略の VISION 2020 において、プロダクティビティ(事業の生産性)と収益性改善に向けた選択と集中により、ポートフォリオの組み替えを進めています。今回の契約の終了はこの戦略に基づくものです。

今後、資生堂グループは DOLCE&GABBANA(ドルチェ アンド ガッバーナ)や Narciso Rodriguez(ナルシソ ロドリゲス)などを含む既存のフレグランスブランド育成を重点化します。さらに、生産からマーケティングまでを総合的に手がける企業としての強みを活かし、長期のライセンス契約やブランド取得のような、ビジネスモデルを志向し、フレグランス事業の拡大を目指します。

このニュースに関するお問い合わせは、株式会社資生堂 広報部遠藤までお願いします。
TEL03-6218-5200(直通)